

梅花霜雪 Vol.1

近畿大学九州工学部同窓会ニュース

1998年4月1日

近畿大学九州工学部同窓会発行

〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森11-6 近畿大学九州工学部内
TEL 0948-22-5655 FAX 0948-23-0536
HTTP //www.fuk.kindai.ac.jp/



同窓会誌発刊にあたって

九州担当理事 前嶋俊壽



同窓会誌発刊おめでとうございます。皆様、お元気で御活躍のことと存じます。私は常々、大学の向上発展は教職員、学生、卒業生の三者が協力して初めて達成されるものであると考えています。最近、九州工学部では、卒業生諸君の母校愛から目ざましい活躍が見受けられ御同慶の至りです。私は今までに数多くの同窓会に出席してきました。同窓会の中には、同窓会本来の主旨を忘れ、主人公不在の演芸場、高価な景品の福引会など外見上華やかさに終始し、内容のない形骸化した同窓会もありました。願わくば、同窓生自らの創意工夫による心の通った温かい手作りの同窓会になることを期待しています。一方で、私は、毎年近畿大学短期大学通信教育部の同窓会には必ず出席し、皆勤を誇りとしています。それは、卒業生の真摯な姿勢、同窓生間の強い友情と絆があらわれた内容に心うたれたためです。毎日顔を合わす通学の学生とスクーリングの期間だけしか顔を合わさない学生とで、どうしてこのような逆転現象が現れるのでしょうか。

私が九州地区を担当した当時は、通信教育の学生は僅か400名でしたが、短期大学教職員の協力を得て、今では学生数4,000余名となりました。先日の鹿児島



での通信教育部同窓会で、古い学生は新しい学生の出身校と短期大学の連携役を買って出、ボランティアとして活動していただいていることを初めて知りました。感謝のほかありません。

もともと同窓会は、卒業生の親睦と助け合いの上、母校の発展に寄与するものであり、一方母校は、卒業生の生涯教育の場を提供し、卒業生の更なる発展と幸福を願うものと考えています。同窓会役員の皆様は御苦労ですがボランティア精神に徹してお世話下さるようお願いいたします。最後に本会誌が、同窓生間の意志疎通を高め、交流の輪が更に深まり、広がることを期待してお祝いの詞とします。

同窓会機関誌創刊に寄せて

8700同窓生の共有する喜び！！



近畿大学九州工学部同窓会会長

平成十年度同窓会実行委員長 樋口 秀 隆

昭和41年に産声を上げた九州工学部は、45年に最初の同窓生を送り出して以来28年を経て、既にその仲間は8,700名を超えました。

この多くの諸先輩や仲間たちは、激動の20世紀後半、高度成長期により一層の勢いをつけ、国際社会での日本の責務を全うする役目を担い、あるいは、地域社会でのきめの細かな奉仕活動に従事することで、各々の



平成9年度ジョイント同窓会

個の存在を確かなものとすると同時に、結果として、少なからず近畿大学とこの工学部の名を知らしめることに寄与されて来たものと考えています。

先年、熊本での企業関係の九州大会の折、隣席したメンバーが偶然十年程後輩の同窓生という機会に恵まれましたが、時間と空間を越え、瞬時に意気投合し、思わぬ愉快なひと時を過ごすことが出来ました。

先達が「人との出会いあり、これだから人生やめられん」と言われましたが、私達は近畿大学の名の下に少なくとも8,700の同窓生と、そして30万を超える校友との「出逢い」を既に果たしているのだと思います。

この世紀末にかかる数年は、必ずしも明るいとは言えない出来事の連続でありました。しかし、来るべき21世紀は、我々の力で真に建設的で、希望に満ちた輝かしい新世紀にしなければなりません。

ここに及んでの、同窓会の課題は、8,700あるいは30万という「量」を束ね、良質の「力」とする事であり、もって、同窓会の目的である「互助」と「親睦」に志向し、ひいては、使命としての「社会への貢献」へと結実させる事だと考えます。

初めての試み、九州地区校友が一堂に — 世代を越えて集う喜び！！ 福岡市内での開催 —

飯塚本町宿場太鼓

これまで地元飯塚市内での開催を重ねて来た同窓会でしたが、二月に入って本部校友課より、九州地区の校友が、一堂に会せる様な企画を試みてもらえないかとの提議がありました。

これを受けて、数年来希望のあった、同窓生定住数の多い福岡市内での開催と同時検討した結果、交通の利便性も加味した上で、別項のような要領にての開催を決めました。

今回の企画の主旨は、本部大阪より遠く離れている校友に、「互助・親睦」のチャンスを拡げてあげたい、というものと、又、少子化による就学生の絶対数減に対応した大学の施策である、学生募集対象の拡大に協力する、というものでした。

これまでになかった色合いの、素晴らしい同窓会懇親会にすべく実行委員一同心をくだいでいますのでどうか多数の御参加を期待しています。

生かしあい、生かされあい。

支えつつ、支えられつつ。

大きな愛も、小さな心も。

与えながら、与えられながら。



最後に、かねてよりの懸案であった、機関誌の発行となりました。会の活動内容と意識を少しでも伝えられたらと、思っています。御愛読下さい。

ファミリーレクリエーション

近畿大学九州工学部同窓会では、「家族・友人・知人も気軽に参加できる催しとして、ファミリーレクリエーションを毎年実施しております。昨年度の天候はあいにくと雨もようでしたが、サンビレッジ茜においてスキーとバーベキュー大会が実施され、同窓生をはじめその家族・友人でにぎわいました。右の絵と下の作文は、ファミリーレクリエーションの楽しかった思い出を「藤本 歩」ちゃんに書いてもらいました。毎年1月に案内を近隣に在住の方へお送りしております。参加ご希望で案内が来ない方は是非同窓会までご連絡ください。



藤本歩ちゃん(小2)の絵

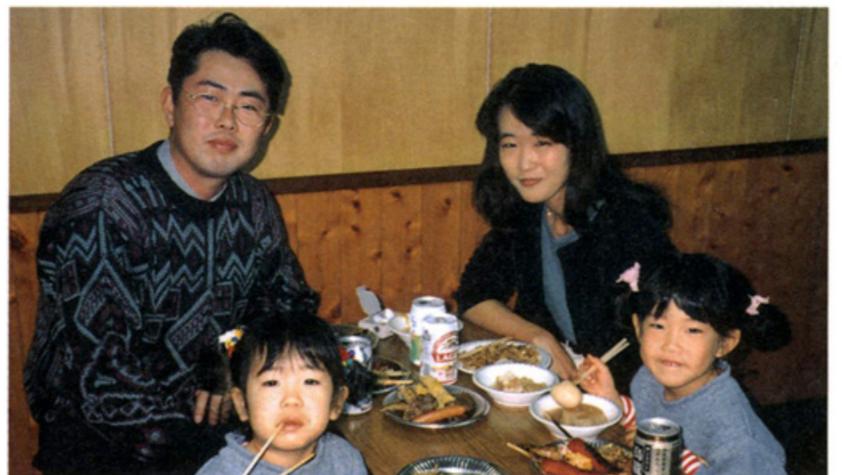
あかねスキー
 困い、右、左、右、左、右、左とまわって
 いぎます。みんなもみぎぎぎと前いって
 迷の右、左のおやゆびに力をいれます。はじ
 りての人は、先生におしえてもらいます。そ
 れは、おしりががが、ていませ。でも、うま
 い人は、おしりががが、ていませ。すべろ
 とさほ、ウキウキ、ドキドキとします。とうぜ
 んは、おしりの人は、おしりががが、ていませ。
 さべり終わった時は、マッターホルンとたじとい
 う風持ちになりませ。でも、すべれる人は、
 たのしい、思ひの思ひ、思ひ、時間かきて
 すべり終わった後は、おなががすいていませ。
 やさしい、おながも楽しませ。して、おながし
 いませ。だから、近所のスキーは、かならず
 いぎませ。一年一回いぎませ。三回いぎ
 ませ。いぎませ。



おながいっぱいハイチーズ



親切なコーチ、初心者でも安心



おとうさん、またつれてきてね

平成9年度同窓会名誉職・役員・幹事

名誉顧問	前川 尚之(52年建築)	常任幹事	阪下 一仁(50年建築)	馬本 正和(61年建築)
世耕 政隆	幹事長	田中 徹夫(47年電気)	原田 篤(51年電気)	林 美江(63年建築)
前嶋 俊壽	坂口 高昭(48年建築)	倉元喜一郎(47年電気)	甲斐 信男(52年建築)	吉野 聖子(63年建築)
名誉会長	事務局長	福田 茂幸(48年電気)	手嶋 久忠(52年建築)	
曾根 靖史	浦川 保(45年工化)	瀬ノ下信明(48年建築)	渡辺 信博(53年工化)	事務局
相談役	会計	縄田 芳照(48年建築)	清水 国幸(53年建築)	関 秀樹(48年建築)
未吉 桓寧(46年建築)	津野 雅之(55年建築)	二田水秀夫(48年建築)	松村 一弘(54年建築)	永露 栄(49年二職)
日下部親男(47年電気)	川村 正美(47年電気)	林 幹夫(48年建築)	田嶋日出文(55年工化)	青柳 秀喜(51年建築)
会長	監査	深町 春樹(48年建築)	花田 徳生(55年電気)	古野 信之(59年建築)
樋口 秀隆(48年建築)	副田 雄一(52年工化)	南 俊秀(48年建築)	中尾 知子(56年建築)	
副会長	富来 公生(59年建築)	玉ノ井健次(48年二職)	奥 雅彦(57年二職)	
一尾 泰嗣(48年電気)		祝原 六幹(49年電気)	篠崎 正史(58年工化)	
大島 敏秋(48年建築)		樋口 宏房(49年建築)	藤本 繁喜(59年二職)	
長谷川保久(49年工化)		井出 克行(49年二職)	辻 達郎(61年電気)	

チャリティゴルフ

初秋とは言え真夏の暑さが残る中、9月2日井波教授をはじめとする教職員の方々、同窓生約50名が集い、第4回近畿大学九州工学部同窓会チャリティゴルフコンペが開催されました。

2・3ホールが終わる頃には全身汗ビッシヨリ、昼食をとっている方々のゴルフウェアも本当の色がわからなくなる位でした。18ホール終了し上がってくる時、暑さとスコアでより疲れてくる人、思ったより良くて元気に帰ってくる人という表情が見られました。



そんな中、見事に優勝を飾ったのは長谷川保久さん(工業化学5回生)でした。日頃よりとてもお上手な方ではありますが、今回はハンディキャップ(ダブルペリア方式にて算出)にも恵まれ、ネット68.2(グロス76)というすばらしいスコアでした。尚、長谷川さんにおきましては平成9年度の同窓会実行委員長を勤めていただきましたので、良い御褒美になったとか??

ちなみに、準優勝 松瀬英樹さん(建築5回生) 3位樋口秀隆さん(建築4回生)という結果になったようです。

九州工学部学科紹介

平成10年度 九州工学部 入試統計

学 科	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
工業化学科	461	428	311	1.4
電気工学科	673	652	330	2.0
建築学科	773	741	315	2.4
産業デザイン学科	341	330	148	2.2
経営工学科(経営コース)	246	239	163	1.5
経営工学科(情報コース)	284	275	192	1.4
合 計	2,778	2,665	1,459	1.8

平成10年度 大学院産業技術研究科 入試統計

試験	専 攻	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
博士前期課程	物質工学専攻	15	14	13	1.1
	電子情報工学専攻	5	5	5	1.0
	造形学専攻	11	11	7	1.6
	経営工学専攻	17	17	17	1.0
	合 計	48	47	42	1.1
博士後期課程	物質工学専攻				
	電子情報工学専攻	2	2	2	1.0
	造形学専攻				
	経営工学専攻	1	1	1	1.0
合 計		3	3	3	1.0

順位	氏 名	TOTAL	HCP	NET
1	長谷川 保 久	76	7.2	68.8
2	松 瀬 秀 樹	102	31.2	70.8
3	樋 口 秀 隆	86	14.4	71.6
4	中牟田 真樹夫	86	14.4	71.6
5	御 木 裕	84	12.0	72.0
6	下 元 英 意	85	12.0	73.0
7	甲 斐 信 男	106	32.4	73.6
8	菅 原 淳	109	34.8	74.2
9	獅子鹿 稔	83	8.4	74.6
10	荒 川 剛	102	26.4	75.6

また、今回が初出場の方、初めてコースに出た方、大たたきした方、“ゴルフちゃむつかしいねえ”と言いながらも“来年も参加するので声かけて”と言ってくださった方々、本当に参加頂いた方々に感謝申し上げます。今年も昨年以上盛大になるよう頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

チャリティ募金として25,500円を西日本新聞社筑豊支局を通じて地域福祉向上のために寄付いたしました。ご協力いただきました参加者の皆様、ありがとうございました。



◎工業化学科

新しい技術と能力を身につけ、幅広い視野に立つ人間性豊かな化学技術者を育成する。実験や実習を豊富に設けることで、高度な知識能力を確実に身につけられる。学際的な材料に関する化学、生物人間性に関する化学、情報処理理論などを体系化して 基礎から応用研究能力までを学んで行く。

◎電気工学科

新時代のエネルギー研究と電子技術に加え、情報処理技術を学び、より高度な研究、開発者の養成を目指す。電力コースは、これまでの発電機、電気機械にコンピュータ応用を加え学んでいく。電子コースと情報コースは、半導体やその他の電子素子、電子デバイスとその基礎となる電子物性と計算機、プログラムとその基礎となる情報理論を学び、ハードとソフトのバランスの取れた教育を目指す。

◎建築学科

日本独特の建築学を追求するとともに、世界各地の建築学を見つけ、研究していく。設計のほか、構造や設備、建築計画などの専門科目があり、建築に関する知識を高め、充実した建築学全般を学んでいく。

◎産業デザイン学科

プロダクト、グラフィック、人間工学、インテリア、視覚、CGなどを学び、人々の生活や社会に役立つ道具や情報を作ることを目指す。自分の個性を強く表現し、各自の意思や考えを発揮できる。

◎経営工学科

情報処理、経営管理、会計処理などの技術をバックグラウンドとして、人間、環境、技術、組織、社会のよりよいつながりを研究する。経営コースは、主に企業経営の管理、会計処理手法、生産管理、人間工学などを修得する。情報コースは、主に情報処理、情報管理、システム工学などの科目をとおして企業経営における情報処理や管理の専門家を目指す。

就職セミナー

在学生へ、リクルート活動支援！！

－「講演」や「面接シュミレーション」－

同窓会の目的のひとつに、「母校の発展に寄与する」とあります。

この項を实践すべく、学生代表との数度の懇談を経て、この就職難の折、彼等から切実な要望として挙がって来た就職活動に対する支援について検討しました。

彼等の問題点は二点で、一点は直接のコネクションが欲しいという事と、二点目は、構えの甘さと切実感の薄さからくる活動の立ち遅れ、だとの事でした。

一点目に関してはOBが各々に働きかける事とし、同窓会としては二点目への対応として、早い時期に何か企画をし、早期の活動着手を促す事、そして厳しい状況を伝え少しでも他より抜きん出るノウハウを伝える事を考えました。

そして企画実行したのが、受け入れる企業側の厳しい目を持つ方をお招きし、現場からの声を直接学生に伝える事と、その方達が実際に就職面談をする際、どのような判断基準を持っているか、という事を探らせる事でした。

一回目は、平成8年5月。(株)森組の前人事部長、本部OBの高橋氏や、就職後数年目のOBにより、講演、面接シュミレーション、苦労話や失敗談等を行っていただきました。

二回目は、平成9年10月。(株)マルボシ酢会長、星野氏や、OB数名にて一回目と同じ様な内容で行われました。

この二回とも、殆どの対象学生が参加する中で行われましたが、特に模擬面接では、学生10名程が順次壇上に上り、姿勢や目線、話し方と同じ位に大事な返事の仕方、タイムリーな話題として環境問題やセクハラ、男女雇用機会均等法など多彩な内容に及びました。参加者全員真剣な面持ちでこれに望んでいましたが、今後の就職活動の一助になることを望んでやみません。



新しい建物



パウヒュッテ (ログハウス型喫茶店)

平成6年に完成し、憩いの場として活用されています。



図書館電算棟 (4号館)

昭和62年に完成し、1・2階は図書館、3階は電算機センター、4階は教室・研究室として利用されています。

また、研究棟として5号館が建設中です。次号の同窓会ニュースで完成の姿を紹介いたします。

ホームページ作成予定

九州工学部同窓会では日頃の活動を多くの同窓生の方々に知ってもらうため、最新の情報をお届けするためにホームページの作成を計画しております。なかなかスタッフも少なく難航しておりますが、今年度中にはなんとかする予定です。ホームページは九州工学部のホームページ内に場所を借りる予定ですので時々九州工学部のホームページを覗いてみてください。

アドレス [HTTP://www.fuk.kindai.ac.jp/](http://www.fuk.kindai.ac.jp/)

平成8年度 近畿大学九州工学部同窓会収支報告

(期間 平成8年4月1日～平成9年3月31日)

単位 円

支出の部			収入の部		
摘要	8年度予算	8年度決算	摘要	8年度予算	8年度決算
会議費	250,000	130,050	会費過年度未収入分	50,000	30,000
交通費	300,000	197,550	会費収入(当年度分439名の70%)	3,330,000	3,180,000
通信費	200,000	160,110	準会員会費(123年生)	2,100,000	2,187,000
印刷費	400,000	48,000	利息収入	20,000	9,552
慶弔費	50,000	65,000	同窓会誌売上	5,000	1,000
スポーツ大会費用	150,000	113,124	スポーツ大会会費	150,000	113,124
チャリティー募金	50,000	0	チャリティー募金	50,000	18,230
ファミリーレクリエーション	500,000	371,942	ファミリーレクリエーション参加費	150,000	92,500
大学祭サークル表彰	65,000	92,573	短期大学合同同窓会負担金	1,100,000	1,100,000
大相撲若松部屋後援会会費	100,000	100,000	合同同窓会懇親会会費収入(4,000×300名)	1,520,000	1,182,000
同窓会員名簿印刷	820,000	797,500	合同同窓会懇親会祝儀	550,000	352,000
事務用消耗品手数料等	50,000	27,162			
卒業生表彰記念品	90,000	89,520			
合同同窓会懇親会費用負担金	1,970,000	2,067,665			
合同同窓会懇親会費用	3,190,000	2,634,000			
同窓会就職セミナー	800,000	246,661			
同窓会事務局用パソコン	1,000,000	0			
桑原教授退職記念講演補助		150,000			
支出合計	9,985,000	7,290,857	収入合計	9,025,000	8,265,406
翌年度への繰越金	11,601,544	13,536,093	前年度からの繰越金	12,561,544	12,561,544
合計	21,586,544	20,826,950	合計	21,586,544	20,826,950

平成9年度 近畿大学九州工学部同窓会予算書

(期間 平成9年4月1日～平成10年3月31日)

単位 円

支出の部		収入の部	
摘要	9年度予算	摘要	9年度予算
会議費	150,000	会費過年度未収入分	140,000
交通費	300,000	会費(当年度520名の70%)	3,640,000
通信費	600,000	準会員会費	2,240,000
印刷費	300,000	利息収入	10,000
慶弔費	70,000	同窓会誌売上	5,000
スポーツ大会費用	120,000	スポーツ大会会費	120,000
チャリティー募金	68,000	チャリティー募金	50,000
ファミリーレクリエーション	400,000	ファミリーレクリエーション参加費	150,000
大学祭サークル表彰	65,000	短期大学合同同窓会負担金	1,100,000
大相撲若松部屋後援会会費	100,000	合同同窓会懇親会会費収入	1,200,000
同窓会員名簿印刷	820,000	合同同窓会祝儀	360,000
事務用消耗品手数料等	50,000		
卒業生表彰記念品	90,000		
合同同窓会懇親会費用負担金	1,860,000		
合同同窓会懇親会費用	2,660,000		
同窓会就職ガイダンス	300,000		
同窓会事務局用パソコン	1,000,000		
同窓会事務局用カメラ	50,000		
支出合計	9,003,000	収入合計	9,015,000
翌年度への繰越金	13,548,093	前年度からの繰越金	13,536,093
合計	22,551,093	合計	22,551,093

表紙の校章とタイトルについて (学園例規集より抜粋)

学園花は、梅、です。「梅花霜雪を経て開く」。自然の厳しさをへて、春いちばん、品格高き花が咲きひらく。

学園章は、梅の花弁を、象徴したものです。五つの花弁は、大学の「大」、花芯も「大」、人そのものでもある。これは、大学の現及び未来に向かっての存在と位置をかたどるものです。一部がやや離れているのは未来志向に基づく内面の未完、さらに充溢、完熟をめざし向かう形姿。一本のつよい線に貫かれる。

編集後記

第一回、近畿大学九州工学部同窓会誌発行にあたり 編集委員長を仰せつかり 20数年前に在学していた時の思い出を振り返りながら、編集委員の皆さんと楽しく編集できた事を報告すると共に、この会報を読んでもいただければ、同窓会が日頃どういった活動をしているかおわかり頂けるものと思います。

この20数年間のキャンパスの拡張と学部の充実ぶりは目をみはるものがありますが、地域社会からの知名度、認知度は今一步という気がしました。そして、この課題こそが我々同窓生の役割ではなからうかと思っています。

今後とも同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。

編集委員長 長谷川 保久

平成8年度 同窓会経過報告

- H8.4. 9 合同同窓会実行委員会
- 4.12 平成8年度入学式出席
- 4.23 合同同窓会実行委員会
- 5.16 合同同窓会実行委員会(案内状発送準備)
- 5.17 合同同窓会案内状発送
- 5.18 在学生へ就職ガイダンスセミナー
- 5.29 合同同窓会実行委員会
- 6. 6 合同同窓会実行委員会
- 6.17 合同同窓会実行委員会
- 6.23 合同同窓会総会 懇親会
- 6.29 広島工学部同窓会へ出席
- 6.30 本郷先生叙勲祝賀会
- 7 5 同窓会実行委員会
- 7.24 幹事会 総会の反省会
- 8.29 幹事会
- 9. 4 同窓会親睦ゴルフコンペ
- 9. 5 同窓会誌編集委員会
- 10. 2 同窓会誌編集委員会
- 10. 9 幹事会
- 10.27 校友会総会出席
- 11.2~4 大学祭参加
- 11 2 学生サークル表彰
- 11.13 前嶋理事との懇談会
- 11.27 幹事会
- 12. 8 同窓会ファミリーレクリエーション(スキー)
- H9.1.23 幹事会 新年会
- 2.13 幹事会
- 2.27 合同同窓会実行委員会
- 3.11 同窓会会員名簿完成
- 3.12 平成8年度卒業式出席
- 3.15 虹ヶ丘学園壁画作成(美術部)補助
- 3.17 合同同窓会実行委員会
- 3.26 合同同窓会実行委員会(親睦会)

平成9年度 同窓会事業計画

- H9.4. 9 合同同窓会実行委員会
- 4.11 平成9年度入学式出席
- 4.23 合同同窓会実行委員会
- 5.14 合同同窓会実行委員会(案内状発送準備)
- 5.15 合同同窓会案内状発送
- 5.28 合同同窓会実行委員会
- 6. 8 九州短期大学通信教育部同窓会出席
- 6.11 合同同窓会実行委員会
- 6.18 合同同窓会実行委員会
- 6.22 合同同窓会総会 懇親会
- 6.28 近畿大学工学部同窓会出席
- 7 合同同窓会実行委員会
- 7 幹事会 総会の反省会
- 8. 幹事会
- 9. 同窓会親睦ゴルフコンペ
- 10. 幹事会
- 11 1~3 大学祭参加
- 11 2 学生サークル表彰
- 11 在校生就職ガイダンス
- 12. 同窓会ファミリーレクリエーション(スキー)
- 12. 幹事会
- H10.1. 幹事会 新年会
- 2. 幹事会
- 2. 平成10年度同窓会実行委員会発足
- 3.22前後 平成9年度卒業式出席 同窓会員名簿発行

※同窓会報発行

同窓会ホームページ作製

同窓会館建設委員会発足